

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	狂犬病予防事業			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実		総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 1 狂犬病予防事業費
-----	---------	-----------	---------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 生後90日を経過した飼い犬	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 飼い犬の登録数(年度末)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ① 犬が市の台帳に登録される。 ② 犬の狂犬病を予防し、ヒトへの感染を防ぐ。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 狂犬病予防注射済票の交付数/飼い犬の登録数
	③ そのために何をしましたか。 ① 窓口での登録及び狂犬病予防注射済票の発行 ② 狂犬病予防集合注射の実施	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①注射済票交付数 ②狂犬病予防集合注射実施頭数 (②は、①の交付数に含まれる。)

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	3,840	3,778	3,659	
	成果指標	②の数値	%	77.9	78.9	80.2	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	前年度維持				
活動指標	③の数値	件頭	①2,993 ②668	①2,981 ②609	①2,944 ②572		

3 経費	事業費(実績)		円	576,760	939,947	403,954	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	576,750	939,947	403,954	
		(うち受益者負担)	円	2,490,350	2,366,380	2,205,130	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	4,133,500	4,126,500	4,122,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	4,710,260	5,066,447	4,525,954		

この仕事における市の裁量	市の裁量は小さい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 狂犬病予防法(昭和25年)に基づき、狂犬病の発生及びまん延を防止し、また、これを撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図ることを目的としている。平成24年度の一般社団法人ペットフード協会の調査によると、全国の推定登録率は81.3%である。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 狂犬病予防法が制定される以前は、多くの犬が狂犬病と診断され、人間も犬も死亡していたが、現在、日本での狂犬病発生はなく、海外で犬に咬まれて発病、死亡した例が平成18年以降みられていない。平成29年度から環境課に事務移管した。

仕 事 の 内 容	狂犬病予防事業			
担当部署・課長名	環 境	課	環 境 公 害	係 課 長 名 宮 鍋 和 志

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	集合注射を行った場合、その場では獣医師からの接種済証が発行されない。必要な場合は接種した獣医師に依頼しなくてはならないので、後日、接種した獣医師名についての問い合わせがあった。			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	飼い犬の登録内容に変更がある場合は、飼い主からの届出が必要である。しかし、届出をしないまま転出して幽霊台帳となっている現状がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 集合注射案内はがき等を郵送して、宛所不明で3回戻ってきた飼い主に対して、職権での削除を行った。			
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	はがきの返戻に頼ることなく、転出状況を把握できるシステムが必要である。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
今 後 の 方 向 性	システム更新のタイミングで、住基連携可能なシステムに変更したい。 住基連携することで市民課と連携が取れるようになり、転入転出等の手続き漏れ解消につながる。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	現行システムに比べて費用がかさむため予算取りの交渉が必要となる。 また、住基連携となるとシステム移行に時間がかかるため円滑なシステムの移行ができるよう調整が必要となる。			
成 果	(3)改革・改善案による期待成果			
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費を増加させる。